

GX (Green Transformation) の加速に向けて

2024年10月

高田英樹

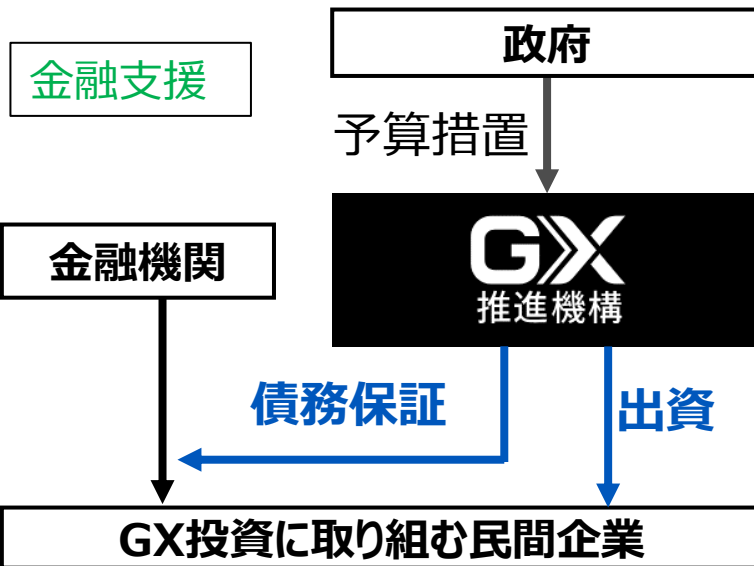
(GX推進機構 理事)

GX (Green Transformation) に向けた政策

- ▶ “GX” は、以下の同時達成を目指す取組み
 - 2050年までの脱炭素化（カーボンニュートラル）
 - 産業競争力強化と経済成長
- ▶ 今後10年間に官民協調で150兆円のGX投資を実現
- ▶ 国による20兆円規模の先行投資を実現するため、世界初の国債としてのトランジションボンド、GX経済移行債 (Japan Climate Transition Bond) を2024年2月より発行
- ▶ 排出量取引制度・カーボンプライシングの導入
- ▶ 新たな金融手法として、サステナブルファイナンス、トランジション・ファイナンスを推進

GX推進機構

- **GX推進機構**（脱炭素成長型経済構造移行推進機構）は、GX推進法に基づく認可法人として、**2024年7月、業務開始**。（官民から人材を結集し、30名程度の体制でスタート。）
- **2050年カーボンニュートラルと、産業競争力強化・経済成長の同時実現**に向け、今後10年間で150兆円超のGX投資を推進することを使命とし、以下の業務を実施。
 - **金融支援業務**：債務保証の提供等により、民間投資を促進（出資、社債引受も可能）
 - **排出量取引制度**の運営・化石燃料賦課金等の徴収
 - **GX政策等**に関する調査・研究、企業連携の推進、気候変動開示の推進、新たな金融手法の国内外への発信等
 - ・GX・サステナビリティ推進に向けた「ハブ」としての役割 ⇒ GX Future Academy構想
 - ・TCFDコンソーシアムとの連携
- 2024年9月、地域でのGX投資促進のため、「**地域連携室**」及び「**北海道デスク**」を設置。



GX推進に向けたハブ



- ・調査・研究
- ・企業等連携
- ・セミナー等の開催
- ・政策提言
- ・国内外への発信